

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和2年度】

2021 年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 203-0031

所在地 東京都東久留米市南町1-13-38

評価機関名 株式会社ふくし・ファーム

認証評価機関番号

機構 04 - 134

電話番号 03-3332-3334

代表者氏名 加藤 正樹

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

| 評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号 | 評価者氏名 | | 担当分野 | 修了者番号 |
|--|---|---------------------|------|----------|
| | ① | | 福祉 | H0601051 |
| | ② | | 経営 | H0202003 |
| | ③ | | 福祉 | H1801008 |
| | ④ | | | |
| | ⑤ | | | |
| | ⑥ | | | |
| 福祉サービス種別 | 認可保育所 | | | |
| 評価対象事業所名称 | ココファン・ナーサリー花小金井 | | | |
| 事業所連絡先 | 〒 | 187-0002 | | |
| | 所在地 | 東京都小平市花小金井3丁目1-21-1 | | |
| | TEL | 042-451-7020 | | |
| 事業所代表者氏名 | 堤 邦江 | | | |
| 契約日 | 2020 年 7 月 1 日 | | | |
| 利用者調査票配付日(実施日) | 2020 年 10 月 29 日 | | | |
| 利用者調査結果報告日 | 2020 年 12 月 2 日 | | | |
| 自己評価の調査票配付日 | 2020 年 10 月 29 日 | | | |
| 自己評価結果報告日 | 2020 年 12 月 2 日 | | | |
| 訪問調査日 | 2020 年 12 月 9 日 | | | |
| 評価合議日 | 2021 年 1 月 9 日 | | | |
| コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入) | 事前説明には、評価の理解を深めて頂く為、評価の全体像や具体例を用いた判りやすい資料を作成し、丁寧に説明を行いました。事業評価においては、自己評価の事実確認に徹し、第三者性の担保に配慮しました。また、利用者調査および事業評価の集計結果は、独自開発による集計シートを用い、グラフ・表によりわかりやすく報告しました。 | | | |

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

2021 年 3 月 日

事業者代表者氏名

印

| | |
|---|---|
| 1 | <p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>保育理念 すべての人が心ゆたかに生きることを願い、今日の感動・満足・安心と明日への夢・希望を提供します ココファンナーサリーの取り組み 1.子どもの養護と教育を両輪とした、子ども主体の心と体の育ちの支援 2.子どもの認知発達に応じた個別の発達支援 3.地域社会の全ての子育て家庭に対する、様々な取り組みによる育児支援</p> <p>保育方針 1.子どもが本来持っている「育ちのチカラ」を信じます 2.子どもの主体的な活動を援助し、子どもの発達を促します 3.養護と教育の一体化を実践し、家庭と連携します</p> <p>保育目標 1.基本的な生活習慣が確立した子 2.心も体も自立した子 3.自立した行動がとれる子 4.他人に対する思いやり、援助が出来る子</p> |
| 2 | <p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>（1）職員に求めている人材像や役割</p> <p>①コミュニケーション能力の高い人材 ②成功・達成させる信念を持っている人材 ③責任感がある人材</p> <p>（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）</p> <p>①子どもを好きでいてほしい ②プロとしての使命感 ③経験を積み上げる ④仲間を大切にする ⑤アンテナを張る ⑥感性を磨く</p> |

| | |
|---------------------|---|
| 調査対象 | 調査対象は、在園児の保護者全員を対象とし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答のご回答をいただきました。 [調査対象世帯数：82世帯(在園児85名)] |
| 調査方法 | 園より保護者全員に調査票を配布して頂きました。回収については、評価機関への郵送、または園内に設置した回収箱への投函により提出して頂くようにしました。 |
| 利用者総数 | 85 |
| 利用者家族総数(世帯) | 82 |
| 共通評価項目による調査対象者数 | 82 |
| 共通評価項目による調査の有効回答者数 | 41 |
| 利用者家族総数に対する回答者割合(%) | 50.0 |

利用者調査全体のコメント

「現在利用している保育園を総合的にみて、どのように感じていますか」との質問に対して、「大変満足」22.0%、「満足」53.7%、「大変満足」と「満足」を合わせて75.7%の回答率となっています。「どちらともいえない」が22.0%、「不満」が2.4%「大変不満」、無回答が0.0%でした。園のサービスに対する保護者の満足度が高いことが確認されました。個別設問では、問2「園活動への興味や関心を示し、学びや遊びを楽しんでいるか」について「はい」の回答率が95.1%で最も高く、問16「利用者の不満や要望は対応されているか」では「はい」の回答率が56.1%と最も低くなっています。

利用者調査結果

| 共通評価項目 | 実数 | | | |
|---|----|-----------|-----|---------|
| | はい | どちらともいえない | いいえ | 無回答・非該当 |
| 1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか | 33 | 7 | 1 | 0 |
| この項目では、「はい」と答えた方が全体の80.5%を占め、「どちらともいえない」が17.1%、「いいえ」が2.4%、「無回答・非該当」が0.0%という結果でした。自由記述では、クラスにより取り組みが異なることを伝える声が多数が寄せられました。 | | | | |
| 2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか | 39 | 2 | 0 | 0 |
| この項目では、「はい」と答えた方が全体の95.1%を占め、「どちらともいえない」が4.9%、「いいえ」が0.0%、「無回答・非該当」が0.0%という結果でした。 | | | | |
| 3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか | 38 | 3 | 0 | 0 |
| この項目では、「はい」と答えた方が全体の92.7%を占め、「どちらともいえない」が7.3%、「いいえ」が0.0%、「無回答・非該当」が0.0%という結果でした。 | | | | |

| | | | | |
|--|----|----|---|----|
| 4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか | 27 | 12 | 2 | 0 |
| この項目では、「はい」と答えた方が全体の65.9%を占め、「どちらともいえない」が29.3%、「いいえ」が4.9%、「無回答・非該当」が0.0%という結果でした。自由記述では、「コロナ禍で該当する取り組みが減っている」という声が多く寄せられました。 | | | | |
| 5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか | 25 | 5 | 0 | 11 |
| この項目では、「はい」と答えた方が全体の61.0%を占め、「どちらともいえない」が12.2%、「いいえ」が0.0%、「無回答・非該当」が26.8%という結果でした。 | | | | |
| 6. 安全対策が十分取られていると思うか | 30 | 9 | 2 | 0 |
| この項目では、「はい」と答えた方が全体の73.2%を占め、「どちらともいえない」が22.0%、「いいえ」が4.9%、「無回答・非該当」が0.0%という結果でした。自由記述では、不審者対策の充実を求める声が複数寄せられました。 | | | | |
| 7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か | 24 | 11 | 3 | 3 |
| この項目では、「はい」と答えた方が全体の58.5%を占め、「どちらともいえない」が26.8%、「いいえ」が7.3%、「無回答・非該当」が7.3%という結果でした。自由記述では、コロナ禍で行事の機会が失われていることを伝える声が寄せられました。 | | | | |
| 8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか | 24 | 13 | 4 | 0 |
| この項目では、「はい」と答えた方が全体の58.5%を占め、「どちらともいえない」が31.7%、「いいえ」が9.8%、「無回答・非該当」が0.0%という結果でした。自由記述では、多様な意見が寄せられました。 | | | | |
| 9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか | 33 | 7 | 1 | 0 |
| この項目では、「はい」と答えた方が全体の80.5%を占め、「どちらともいえない」が17.1%、「いいえ」が2.4%、「無回答・非該当」が0.0%という結果でした。 | | | | |
| 10. 職員の接遇・態度は適切か | 30 | 10 | 1 | 0 |
| この項目では、「はい」と答えた方が全体の73.2%を占め、「どちらともいえない」が24.4%、「いいえ」が2.4%、「無回答・非該当」が0.0%という結果でした。自由記述では、職員による違いを指摘する声が複数寄せられました。 | | | | |

| | | | | |
|--|----|----|---|---|
| 11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか | 33 | 7 | 1 | 0 |
| この項目では、「はい」と答えた方が全体の80.5%を占め、「どちらともいえない」が17.1%、「いいえ」が2.4%、「無回答・非該当」が0.0%という結果でした。 | | | | |
| 12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか | 25 | 12 | 0 | 4 |
| この項目では、「はい」と答えた方が全体の61.0%を占め、「どちらともいえない」が29.3%、「いいえ」が0.0%、「無回答・非該当」が9.8%という結果でした。 | | | | |
| 13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか | 34 | 5 | 2 | 0 |
| この項目では、「はい」と答えた方が全体の82.9%を占め、「どちらともいえない」が12.2%、「いいえ」が4.9%、「無回答・非該当」が0.0%という結果でした。自由記述では、職員による違いを指摘する声が複数寄せられました。 | | | | |
| 14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか | 35 | 3 | 1 | 2 |
| この項目では、「はい」と答えた方が全体の85.4%を占め、「どちらともいえない」が7.3%、「いいえ」が2.4%、「無回答・非該当」が4.9%という結果でした。 | | | | |
| 15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか | 27 | 8 | 6 | 0 |
| この項目では、「はい」と答えた方が全体の65.9%を占め、「どちらともいえない」が19.5%、「いいえ」が14.6%、「無回答・非該当」が0.0%という結果でした。 | | | | |
| 16. 利用者の不満や要望は対応されているか | 23 | 13 | 2 | 3 |
| この項目では、「はい」と答えた方が全体の56.1%を占め、「どちらともいえない」が31.7%、「いいえ」が4.9%、「無回答・非該当」が7.3%という結果でした。自由記述では、より丁寧な対応を期待する声が複数寄せられました。 | | | | |
| 17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか | 27 | 6 | 8 | 0 |
| この項目では、「はい」と答えた方が全体の65.9%を占め、「どちらともいえない」が14.6%、「いいえ」が19.5%、「無回答・非該当」が0.0%という結果でした。 | | | | |

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

| No. | 共通評価項目 | |
|-----|---|--|
| | カテゴリ1 | |
| 1 | リーダーシップと意思決定 | |
| | サブカテゴリ1(1-1) | |
| | 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7 |
| | 評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇) | |
| | 評価 | 標準項目 |
| | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当 |
| | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当 |
| | 評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇) | |
| | 評価 | 標準項目 |
| | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/>非該当 |
| | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <input type="radio"/>非該当 |
| | 評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇) | |
| | 評価 | 標準項目 |
| | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/>非該当 |
| | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/>非該当 |
| | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えていく <input type="radio"/>非該当 |
| | カテゴリ1の講評 | |
| | <p>園は保育理念や基本方針が職員に浸透し、目指す保育が遵守されるよう取り組んでいます</p> <p>園は入職時の研修や法人の保育を示した「運営ガイドライン」や「学研アプローチシート」によって、保育理念「すべての人が心ゆたかに生きることを願い、今日の感動・満足・安心と明日への夢・希望を提供します」や基本方針が職員に浸透し、法人の目指す保育が遵守されるよう取り組んでいます。利用者には、入園前説明会で「生活の手引き(重要事項説明書)」を用いて説明したり、懇談会で伝えています。そのほか、園の玄関に保育理念や保育方針を掲示して周知しています。</p> <p>園長はコロナ感染症対策と職員間の連携強化を重要な役割として職務遂行しています</p> <p>園長やリーダー層の役割は「運営ガイドライン」や「期待役割シート」に明記しており、園長は自からの役割と責任を職員会議で伝えていきます。なお、園長は、外部からのコロナ感染を防ぐ対応と、職員間の連携を確認しながら互いに認め合う職場作りを今年度に取り組むべき重要な役割として園運営しています。また、本部の担当者は園の経理や総務を支援したり諸課題に助言して、園運営が円滑に行われるように支援しています。</p> <p>園の重要案件はリーダー会議や職員会議で検討・決定されています</p> <p>日々の保育に関する事柄など園内の重要案件はリーダー会議や職員会議で検討して決定しています。重要案件の決定事項は職員会議で周知されますが、会議に不参加の職員には議事録の閲覧などで周知をしています。また、本部での重要な決定事項は園長会を通じて職員会議で周知しており、利用者には園だよりや掲示、内容により個々の利用者にお知らせの文書を手渡して伝えています。そのほか、地域に関係した案件の場合には、園の外壁に掲示して伝えています。</p> | |

| 2 カテゴリー2 | | |
|---|---|---------------------------|
| 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行 | | |
| サブカテゴリー1(2-1) | | |
| 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している | | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6 |
| 評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している | | 評点(000000) |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 5. 事業所の経営状況を把握・検討している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している | <input type="radio"/> 非該当 |
| サブカテゴリー2(2-2) | | |
| 実践的な計画策定に取り組んでいる | | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5 |
| 評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している | | 評点(000) |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている | <input type="radio"/> 非該当 |
| 評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる | | 評点(00) |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |
| カテゴリー2の講評 | | |
| <p>アンケートや連絡帳、見学者との会話など多様な方法で利用者の意向を把握しています</p> <p>園は毎年行事後に利用者アンケートを実施して、利用者の意向を次回に活かしています。連絡帳や見学者との会話、運営委員会の会議からもニーズを把握しています。特に、園運営などを話し合う運営委員会には各クラスの保護者代表が出席しているので、園は保護者と意見交換してニーズを吸い上げています。なお、アンケートの集計結果を記載した文書を各保護者に配布して、要望などへの回答も伝えています。最近の事例では、保護者から「ブログでは伝わりにくいの、メール配信で連絡してほしい」旨の要望があり、園は対応策を検討して迅速に伝えました。</p> <p>園長は市の園長会や第三者委員から地域の福祉ニーズを把握しています</p> <p>職員の意向の把握については、年3～4回の職員と園長との個別面談の中で把握しています。また、園長は市の私立園長会に参加して、市内の待機児童の状況など地域のニーズの把握に努めています。さらに、第三者委員に就任している民生児童委員などからも地域情報を収集しています。なお、第三者委員は運営委員会に参加するほか、その後引き続き開催される第三者委員会で園と地域の福祉ニーズなどの情報交換しています。そのほか、市や都が主催している研修から行政や業界の動向に関する情報を収集しています。</p> <p>園は独自に中期事業計画と単年度事業計画を策定しています</p> <p>法人は中・長期計画を策定しており、法人の中・長期計画に基づいて園は今年度を始期とした期間3年の中期計画と単年度事業計画を策定しています。中期計画は保育や職員育成など5項目について3年後の姿を現在の姿と対比して示しています。併せて、園長は単年度事業計画の内容作りを主導して3月頃に策定し、事業計画に合わせて予算編成を行っています。予算は年間一定金額まで園の裁量で自由に執行できるようになっています。なお、事業計画は年度末に総括の振り返りを行って事業報告書を作成し、次年度の事業計画に反映させています。</p> | | |

| 3 カテゴリー3 | | |
|---|---|---------------------------|
| 3 経営における社会的責任 | | |
| サブカテゴリ1(3-1) | | |
| 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2 |
| 評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇) | | |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。 | <input type="radio"/> 非該当 |
| サブカテゴリ2(3-2) | | |
| 利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4 |
| 評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇) | | |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある | <input type="radio"/> 非該当 |
| 評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇) | | |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている | <input type="radio"/> 非該当 |
| サブカテゴリ3(3-3) | | |
| 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5 |
| 評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇) | | |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している | <input type="radio"/> 非該当 |

| | | |
|--|--|---------------------------------------|
| 評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている | | 評点(〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |
| カテゴリ3の講評 | | |
| <p>法人は運営ガイドラインの閲覧や研修で法令遵守などの意識向上に向け取り組んでいます</p> <p>法人が作成した運営ガイドラインには、言葉遣いなど保育者の心得を記述した服務規程や倫理綱領が掲載されており、職員がいつでも閲覧・確認できるように事務所に備置しています。また、社内研修のEラーニング(動画)の際にはグループ企業の行動憲章を具体化したコンプライアンスコード(冊子)を用いて行っています。Eラーニングには全職員が受講し、法令遵守などコンプライアンス意識が高まるように取り組んでいます。そのほか、職員は自己チェックシートでコンプライアンス意識を確認しています。</p> <p>園は苦情解決の流れや外部相談先を掲示して、苦情解決制度を分かり易く周知しています</p> <p>園は入園説明会や園内掲示で苦情解決制度の仕組みや利用方法を利用者伝えていきます。園内掲示には苦情解決の流れがフローチャートを用いて分かり易く説明されており、第三者委員の氏名も明記されています。なお、利用者調査では外部相談先の認知度が前回調査比大幅に改善しています。また、利用者が周囲を気にしないで話せるように個室の保護者相談室を設置しています。そのほか、「虐待ガイドライン研修」を年1回行い、園児に対する職員の言葉遣いや立ち振る舞いの振り返り、マニュアルの説明、自己チェックなど虐待防止に向けて取り組んでいます。</p> <p>園は積極的に子育て支援や保育人材の育成に取り組んでいます</p> <p>ホームページで園の活動内容や第三者評価結果を公表して透明性を高めています。また、実習生やボランティアの受け入れ体制を整えており、毎年3人程度の保育実習生を受け入れるなど保育人材の育成に取り組んでいます。さらに、定期的な子育て支援のイベント「子育て玉手箱」を行い、看護師の健康相談や育児相談など専門性を活かした取り組みを行っています。そのほか、世代間交流として近隣の通所施設で高齢者とふれあいの機会を作ったり、市の要介護児童対策協議会など地域のネットワークに園長が参加し、虐待などの課題に協働して取り組んでいます。</p> | | |
| カテゴリ4 | | |
| 4 | リスクマネジメント | |
| サブカテゴリ1(4-1) | | |
| リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5 |
| 評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる | | 評点(〇〇〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |

| サブカテゴリ-2(4-2) | | |
|---|---|---------------------------|
| 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4 |
| 評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている | | 評点(0000) |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している | <input type="radio"/> 非該当 |
| カテゴリ4の講評 | | |
| <p>感染症対策として、保育室内の座席の工夫や看護師が中心となり実技指導しています</p> <p>園は感染症(新型コロナウイルス)を最優先で取り組むリスクとして、マニュアル(運営ガイドライン「コロナウイルス対応」)を整備しています。感染症の流行状況を市や園医などから情報収集して掲示で保護者に伝えるとともに、感染症対策として看護師による嘔吐処理など感染症予防策の実技指導や、保育室内では対面にしない座り方や0歳児が舐めてよだれが付着した物を特定の籠に入れて処理するなどの対応をしています。また、事故安全委員会を設置して、看護師が中心となってリスクに対して必要な対策を検討するリスクマネジメントを行っています。</p> <p>事故を防ぐため、ヒヤリハット報告を速やかに周知・共有しています</p> <p>事故と災害が次に優先順位の高いリスクとして、マニュアル(運営ガイドライン「事故対応、危機管理」)の整備や定期的な避難訓練などの対策を講じています。ヒヤリハットの報告があった場合には、即座に朝礼で伝えて情報共有しています。さらに、集計結果を事故安全委員会で分析して再発防止に取り組んでいます。なお、散歩コースを園長が実地調査して安全性を確認するとともに、不審者の侵入に備えて、職員は避難訓練で刺殺の使用方法などを学んでいます。そのほか、本部は大地震を想定した事業継続計画(BCP)を策定しています。</p> <p>個人情報保護方針を定めて、個人情報の取り扱いを明示しています</p> <p>法人は「個人情報保護方針」を定めて、個人情報の利用目的、開示請求の手続きなどを明示しています。職員はEラーニングやガイドライン研修で情報管理について理解を深めており、法人は職員に守秘義務の誓約書の提出を求めています。また、児童票など個人情報が記載された重要文書を施錠付き書庫で保管するとともに園外への持ち出しを禁止しています。なお、パソコン内の情報にはIDとパスワードでアクセス権を設定して情報漏えいを防止しています。そのほか、ブログなどへの園児の顔写真掲載については、予め文書で同意の有無を確認しています。</p> | | |
| カテゴリ5 | | |
| 5 | 職員と組織の能力向上 | |
| サブカテゴリ-1(5-1) | | |
| 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12 |
| 評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている | | 評点(00) |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |
| 評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している | | 評点(00) |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している | <input type="radio"/> 非該当 |

| 評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる | | 評点(0000) |
|--|---|---------------------------|
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている | <input type="radio"/> 非該当 |

| 評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる | | 評点(0000) |
|--|--|---------------------------|
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている | <input type="radio"/> 非該当 |

サブカテゴリ-2(5-2)

| | | |
|----------------|-------------------------|------------|
| 組織力の向上に取り組んでいる | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 | 3/3 |
|----------------|-------------------------|------------|

| 評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる | | 評点(000) |
|--|--|---------------------------|
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる | <input type="radio"/> 非該当 |

カテゴリ-5の講評

法人が正規職員の採用を一括して行っています

正規職員の採用は、法人がホームページやハローワーク、合同説明会などで募集し、園長は面談を行ったり園見学を受け入れるなど、連携しながら採用を行っています。非常勤職員については、園長が面談して決定しており、健康と協調性を採用基準に考えています。また、人事異動によっても人材を確保しています。採用後、新入保育士には先輩保育士がコーチ役となり、1年間OJTで指導しています。なお、職員の年齢構成のバランスについては、異動などで補充する意向もあります。

充実した内部研修制度を活用して、社内ですキルアップしています

園は面談と職務申告書で職員の意向を把握し、個人別の研修計画を策定しています。なお、本部研修として、入社時には初任者研修とフォローアップ研修、階層別研修ではリーダー研修や管理者研修、専門研修などを行っています。併せて、新任の職員を指導する先輩職員には本部が定期的にコーチ研修を行って支援しています。また、年に10回程度実践的な内容の園内研修を行っており、園は社内ですキルアップができるように職員育成を進めています。そのほか、都や市が主催している外部研修には園長が適任の職員を選任して、受講を勧めています。

園は事前に有給休暇の希望を把握・調整して、完全消化につなげています

園の人事評価制度は、職員に対する法人の期待役割をどの程度達成できたかを個別面談(期待役割面談)を通じて上司が評価した職務成果主義に基づいています。なお、評価は賞与、昇給などに反映しています。また、職員会議の中で研修報告を行って研修内容を共有しています。園長は発言の少ない若手職員から意見や悩み・不満を引き出すために交換ノートでやり取りして、職員間の連携強化につなげる取り組みをしています。そのほか、園は前月に休暇希望を把握し、勤務シフトを調整して完全消化につなげています。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

法人の保育については、職員により理解に差がありました。各職員によって独自に進めている面については、系統性や連携性に配慮した保育を職員が共同して進めていく必要があると園長は感じていました。そのため、職員が法人が目指す保育を遵守しながら同じ方向で保育を実践していくことに取り組みました。具体的な取り組みとして、園は「運営ガイドライン」や保育の道筋を示した「学研アプローチ」の理解を深めるために、本部研修を活用したり園内で話し合いを行いました。また、職員間の連携を図るために親睦会を催しました。

| | |
|-------------------|--|
| <p>目標の設定と取り組み</p> | <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった |
| <p>取り組みの検証</p> | <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である |
| <p>検証結果の反映</p> | <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である |

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

自分が担当しているクラスの仕事で精一杯になり、他のクラスを知る余裕がない職員もいます。園長は若手職員に活発な意見を促したり、発言しやすい雰囲気作りに取り組むことが重要であると感じています。そこで、職員間の連携・交流を図るために、親睦会などを行ってきました。また、会議や話し合いなどを積み重ねてきました。しかし、期待した程の成果は見られず、職員間の連携は深まりませんでした。その理由について、「入社1～3年目の若い職員と10年目以上の職員との考え方のギャップ」や「職員間の負担感や仕事量の違い」などを原因として分析しています。今後そのようなキャリアや業務量の違いを埋めつつ、同じ土俵に立って議論を交わしていくことが期待されます。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

園は中期計画で3年後の「あるべき姿」(将来像)として、保育所を利用していない地域の子育て家庭に対して、子育て体験などを通じて地域子育て支援活動に取り組むことを明記しています。それに対し、これまでの実績として、看護師が健康相談を行った際に、保育・育児相談を年に数回程度実施して専門性を地域に還元してきました。また、短時間ながら園庭開放を実施するなど、園の機能を地域に開放しました。ただし、園の取り組みは不十分であるとして、今年度の事業計画に「地域社会のすべての子育て家庭に対する、様々な取り組みによる育児支援」を盛り込みました。具体的には、園庭を地域の子ども達が安心して遊べる場所として「本格的に園庭開放を行うこと」を計画するとともに、「絵本の貸し出し」を行うことを検討しています。

| | |
|------------|--|
| 目標の設定と取り組み | <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった |
| 取り組みの検証 | <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である |
| 検証結果の反映 | <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である |

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

地域支援を重要な課題として位置づけ、事業の活性化を目指しています。具体的な取り組みとして、前年度には「子育て玉手箱」と命名した保育所体験を実施しました。その際、市の広報紙を通じて参加者を募りました。「歌で遊ぼう」などの行事や看護師による健康相談、園庭開放を行いました。そのような取り組みを発展させるべく、園は今年度の事業計画に育児支援を盛り込んで継続的に取り組むことになりました。ただし、新型コロナウイルス感染症が流行した影響で、今年度は計画した通りの開催には至っていません。感染症の流行が治まるのを待つのではなく、発想を変えて保育所の専門機能を発揮していくことも検討していく価値があると思われます。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

| No. | 共通評価項目 | |
|---|---|---------------------------|
| サブカテゴリ1 | | |
| 1 | サービス情報の提供 | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4 |
| 評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している | | 評点(0000) |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している | <input type="radio"/> 非該当 |
| サブカテゴリ1の講評 | | |
| <p>小平市立園長会で独自にパンフレットを作成し、園の情報を発信しています</p> <p>園の情報は、市や法人(園)のホームページの閲覧や市で発行している情報冊子から入手することが出来ます。市で発行している情報誌「小平市保育園あんない」には、市内各園の所在地や電話、年齢別定員などが記載されています。また、小平市立園長会で独自に市立園パンフレット「小平市の市立保育園案内」を作成しており、園情報(所在地、定員、保育時間)、一日の流れ、主な年間の行事予定などを記載しています。これらのパンフレットは各園や市で配布されています。</p> <p>法人のホームページでは法人の方針や目標、園のページではブログなども配信しています</p> <p>法人のホームページでは、法人としての保育方針や保育目標、「育ちのチカラ」を伸ばす保育や育む取り組み、園生活として給食や病気とケガ、1日の流れなどについて配信し、当園ページでは園の概要や所在地マップ、保護者専用のブログなどを配信しています。見学者に配布される三つ折リーフレットには、企業理念や保育方針、保育目標、取り組み、所在地、定員、開園時間などの基本情報のほか、申し込みできる方の要件や主な年間行事などが記載されており、イラストや写真を活用して、わかりやすくまとめています。</p> <p>見学は随時受け入れ、園の特徴などを丁寧に説明しています</p> <p>見学への問い合わせや希望があった場合には、できる限り希望に沿って日時を調整して随時受け入れています。主な対応は園長や事務担当が行ない、三つ折リーフレットに沿って園を案内しています。見学の際は、「学研が運営する保育園で、スポーツチャンバラ、絵本、もじかずなど学研の素材や教材を多く取り入れている」や「畑などの自然が近くにあり食育に力を入れている」など園の特徴を丁寧に説明しています。なお、見学は園児の活動を見やすい午前中に設定しています。</p> | | |

| サブカテゴリ-2 | | サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 | 6/6 |
|--|--|---------------------------|-----|
| 2 | サービスの開始・終了時の対応 | | |
| 評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている | | 評点(〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している | <input type="radio"/> 非該当 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている | <input type="radio"/> 非該当 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している | <input type="radio"/> 非該当 | |
| 評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている | | 評点(〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している | <input type="radio"/> 非該当 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している | <input type="radio"/> 非該当 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている | <input type="radio"/> 非該当 | |
| サブカテゴリ-2の講評 | | | |
| <p>毎年全保護者に対し説明会を実施し、重要事項説明書に沿って説明しています</p> <p>入園が決まった保護者には児童票や入園までの生活状況などの書類を郵送し、個人面談の日程をお知らせしています。3月には全保護者に対して説明会を実施し、生活の手引き(重要事項説明書)をもとに、保育理念、目標、方針、保育の特色、行事、安全管理、施設概要、個人情報などについて説明しています。なお、説明会後はミニクラス懇談会も実施し、保護者の質問に応じています。また、個人面談では書類の確認と、園長や、栄養士、看護師が園の取り組みや食事、アレルギー、健康面などそれぞれの立場から説明や聞き取りをしています。</p> <p>入園当初は慣れ保育を実施し、保護者や園児の不安を軽減しています</p> <p>個人面談で確認または聞き取った入園までの子どもの状況や保護者の情報は書類に記入し、個人情報の保護に配慮したうえで全職員で共有しています。なお、入園当初は聞き取った内容をもとに保護者が徐々に園生活に慣れることができるように、1週間から10日間の慣れ保育期間を設けています。水分を取らない園児がいた場合は尿量を計測するなど、慣れ保育の期間は特に注意深く園児を観察しています。園での子どもの様子は連絡帳や送迎時の会話で保護者に伝えるとともに、クラスの活動の様子はブログで配信し、安心してもらえるように配慮しています。</p> <p>卒園後も希望に応じてイベントに招待するなど支援の継続性に配慮しています</p> <p>転園や退園をする園児については、制作物と四季の園児の写真を綴じたアルバムをプレゼントしています。また、卒園する園児に対しては保育所児童保育要録や就学支援シート(保護者の希望又は同意のもと)を就学先の小学校に提出しています。さらに、卒園後には保護者の要望に応じてイベントに招待するなど、支援の継続性に配慮した取り組みを行っています。</p> | | | |

| サブカテゴリー3 | | |
|--|--|---------------------------|
| 3 | 個別状況に応じた支援方針作成・記録 | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 12/12 |
| 評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点(〇〇〇) | | |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている | <input type="radio"/> 非該当 |
| 評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点(〇〇〇〇〇) | | |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている | <input type="radio"/> 非該当 |
| 評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している 評点(〇〇) | | |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している | <input type="radio"/> 非該当 |
| 評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している 評点(〇〇) | | |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している | <input type="radio"/> 非該当 |
| サブカテゴリー3の講評 | | |
| 法人の保育理念や方針、目標を踏まえて全体的な計画を作成しています 園の全体的な計画は、法人の保育理念「すべての人が心ゆたかに生きることを願い今日の感動・満足・安心と明日への夢・希望を提供します」や方針、目標を踏まえて作成しています。また、全体的な計画をもとに保育過程や各年齢ごとの年間保育指導計画を作成し、養護と教育に分けた月間指導計画を立案しています。なお、具体的な保育活動は週案の中で表現しています。併せて年齢ごとの年間食育計画や年間保健計画も作成しています。 | | |
| 園児の成長や状況は連絡帳や会話のほか、ブログを活用して伝えています 園児に関する情報は日々の日誌に記録しているほか、定期的に児童票に記録しています。(毎月の月案や個別月案と3ヶ月ごとの経過記録で振り返っています)0～2歳児と支援を要する子どもについては毎月個別指導計画を作成し、連絡帳や個人面談を活用して保護者に発達の状況や成長の目安について伝え、園児の発達や成長を共に確認しながら子育ての視点を共有しています。また、日々の園での園児の状況は連絡帳、保護者との会話のほか、クラスの活動の様子はホームページのブログで伝えています。 | | |
| 毎月の各種会議と朝礼、終礼などで園児の情報を共有しています 職員の情報共有の手段として、毎月開催しているクラス会議、幼児会議、週案会議、職員会議、非常勤会議など各種会議のほか、毎日の朝礼、終礼などがあります。なお、職員会議の中では、給食会議や事故安全委員会など専門的な会議も行われています。会議後は議事録が作成され、朝礼ノートや週礼ノートの記載とともに個人レターケースで回覧しています。そのほか、クラス間の情報共有を強化する取り組みとして今年度よりクラスノートを開始しています。 | | |

| サブカテゴリ-5 | | サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 | 5/5 |
|---|--|---------------------------|-----|
| 5 | プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 | | |
| 評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している | | 評点(〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 子どもに関する情報(事項)を外部和りとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている | <input type="radio"/> 非該当 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている | <input type="radio"/> 非該当 | |
| 評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している | | 評点(〇〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している | <input type="radio"/> 非該当 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている | <input type="radio"/> 非該当 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている | <input type="radio"/> 非該当 | |
| サブカテゴリ-5の講評 | | | |
| <p>個人情報の取り扱いについて説明するとともに、園児の羞恥心にも配慮しています</p> <p>個人情報の取り扱いについては、入園時に配布される「生活の手引き」(重要事項説明書)に明記しており、個人情報保護方針として遵守、開示などや利用目的について説明しています。なお、説明後には同意(署名捺印)を得ています。また、子どもの羞恥心への配慮として、トイレは年齢に合わせてドアを設置したり、プール遊びの際には周りから見えないように配慮しています。なお、着替えは男女別で行っています。</p> <p>法人の保育方針と園の理念に沿い子ども一人ひとりを尊重した保育を実践しています</p> <p>法人の保育方針の一つに「子ども一人ひとりの認知・発達に応じた、個別の発達支援」とあり、理念とともに子ども一人ひとりを尊重した支援を実践しています。子どもの権利の尊重や関わり方については、運営ガイドラインに明記しており、職員は必要に応じて確認しています。なお、必要に応じて個別に面談し丁寧に対応しています。加えて、人権についての印刷物を作成して職員間で読み合わせを行い理解を深めています。そのほか、年2回セルフチェックで自らを振り返る機会を設けているほか、園長との面談も行ない一人ひとり目標や反省を記録しています。</p> <p>人権ガイドラインに沿って虐待防止の取り組みを実施しています</p> <p>虐待防止や育児困難家庭については、市で実施している研修への参加や、「運営ガイドライン」や「人権ガイドライン」をもとに、毎年勉強会を実施し、全職員で理解が深まるように努めています。虐待防止については保護者へも入園時に説明しています。また、虐待の情報を把握した時には担任から園長や主任などへ報告し、速やかに区の子ども家庭支援課や児童相談所などの関係機関に通報するなど、適切に対応できる仕組みを整えています。そのほか、小平氏要保護児童対策地域協議会実務者部会に参加し研修や情報交換を行っています。</p> | | | |

| サブカテゴリ-6 | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 | 5/5 |
|--|---|---------------------------|-----|
| 6 事業所業務の標準化 | | | |
| 評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている | | 評点(〇〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている | <input type="radio"/> 非該当 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている | <input type="radio"/> 非該当 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している | <input type="radio"/> 非該当 | |
| 評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている | | 評点(〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている | <input type="radio"/> 非該当 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている | <input type="radio"/> 非該当 | |
| サブカテゴリ-6の講評 | | | |
| <p>法人統一の「運営ガイドライン」「生活の手引き」を活用し業務の標準化を図っています</p> <p>法人各園共通のマニュアル「運営ガイドライン」を作成しており、保育方針、服務規程、子どもの権利、虐待、保育の手引き、危機管理、個人情報などの情報がまとめられています。また、「生活の手引き」には家庭との連携を大切に、子どもが本来持っている「育ちのチカラ」を伸ばし、子どもの主体的な活動を援助する養育と教育を一体化した保育を行なうことなどが記載され、職員は分からないことが起きた場合や手順に疑問が生じたときなどに活用し基本事項を確認して事業所業務の標準化を図っています。</p> <p>ガイドラインは委員会で見直し、保護者や職員の意見も反映した園運営を進めています</p> <p>「運営ガイドライン」は法人委員会に於いて意見の収集などを行ない、意見交換しながら検討し必要に応じてその都度見直し改善をしています。連絡帳や行事などのアンケートで寄せてもらった保護者の要望や意見は、職員間で検討し改善や保育に反映しています。なお、マニュアルや手順についての職員からの意見や要望は、職員会議などで検討し見直しを図っています。</p> | | | |

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

| サブカテゴリ4 | |
|--|--|
| サービスの実施項目 | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 35/35 |
| 1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている | 評点(000000) |
| 評価 | 標準項目 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している <input type="radio"/> 非該当 |
| 評価項目1の講評 | |
| <p>自然多い環境の中で学研の教材を取り入れた保育を行っています</p> <p>一人ひとりの子どもの発達の過程や生活環境は、入園時の面談や送迎時の会話、連絡帳などで全体的な姿を把握しています。近隣に畑が多く、自然と触れ合える環境の中にある園内には、スポーツチャンバラ、絵本、もじかずなど学研の素材や教材を多く取り入れた保育環境を整備しています。また、園児たちの希望によって作られるままごと、ブロック、机上遊びコーナーのほか、乳児のクラスには食事、着脱、排泄のコーナーが常設されています。なお、玩具の配置棚に玩具の写真を張るなど、園児が興味や感心をもって主体的に遊べるよう工夫しています。</p> <p>戸外活動や行事のほか、午睡などで日常的に異年齢交流を育んでいます</p> <p>園では、朝夕の合同保育のほか、戸外活動や行事で異年齢交流を図っています。また、午睡時にも1・2歳児と4・5歳児時は同じスペースで眠っています。廃材遊びの際には、下の子が上の子を真似ながら製作するなど、上の子への憧れの気持ちや、下の子への思いやりの気持ちが育まれています。そのほか、5歳児クラスでは英語で歌を歌ったり、外国の話をしながら国旗を製作するなど、異文化に触れられる取り組みも行っていきます。</p> <p>園児同士のトラブルは両者の気持ちに寄り添った対応を心掛けています</p> <p>発達の過程で生じる子ども同士のトラブルへの対応については、気持ちが伝えられなくて発生しているものだと考え、両者の気持ちに寄り添いながらお互いの気持ちを伝える支援をしています。特別な配慮が必要な子どもについては、年4回の巡回相談や子ども家庭支援センターなどの専門機関と連携し、情報を共有しながら対応しています。なお、かみつきなどの事故が発生した際は、事故安全委員会で検討するとともに、事故の背景や統計を分析し予防処置を検討しています。</p> | |
| 2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている | 評点(0000) |
| 評価 | 標準項目 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている <input type="radio"/> 非該当 |
| 評価項目2の講評 | |
| <p>登降園時に連絡ノートや会話、ブログなどで園児の様子を共有しています</p> <p>登園時には視診とともに連絡ノートや保護者との会話から家庭での様子(前日の保育園での様子も考慮)や体調などについて聞き取りをしています。保護者から得た情報は朝礼ノートや終礼ノートでより職員間で共有しています。降園時には連絡ノートの活用のほか、クラス前に掲示しているノートで一日の様子を伝えていきます。そのほか、クラス活動の様子はブログでも伝えていきます。</p> <p>基本的な生活習慣の習得は楽しみながら身に付けられるよう工夫しています</p> <p>基本的な生活習慣の大切さについては、個人面談や園だより、保健だより、連絡ノートなどで保護者へ伝えるとともに、一人ひとりの園児の発達に応じた対応で支援ができるようにしています。具体的な取り組みは年間指導計画や月案により定めており、食事指導ではままごとの中でつまみ練習をしたり、排泄指導ではトイレに行ったらシールを張るなど、遊びの中に取り入れ楽しみながら身に付けられるよう工夫しています。</p> <p>午睡は個々の健康状態やペースに合わせて実施しています</p> <p>午睡は年齢ごとに基本的な長さや時間帯は決めています。健康状態や家庭での生活リズムを考慮し、一人ひとりの状況に合わせた入眠時間や休憩時間を調整しています。なお、午睡には寝具として、布団、毛布、バスタオルなどを使用しています。また、5歳児は小学校就学に向けて1月から午睡をなくしていき、もじかずのワークや卒業制作を行っています。園は今後、午睡時に眠れない園児が過ごせる場所の整備したいと考えています。</p> | |

| | | |
|---|---|---------------------------|
| 3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している | | 評点(〇〇〇〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している | <input type="radio"/> 非該当 |
| 評価項目3の講評 | | |
| <p>園児が集団活動の中で主体的に関わり選択できる取り組みを行っています</p> <p>室内は、年齢ごとの園児の状況や興味にあった玩具を準備し、ままごとや絵本などのコーナーを設置しており、園児たちは自由に玩具を出し入れしながら好きな遊びを楽しんでいます。また、園児が集団活動に主体的にかかわる取り組みとして、幼児クラスでは日々の保育の中でデイリープログラムを考えています。みんなで一つのことをやるというルールの上で、お絵描きやお散歩などの意見について、園児同士で相談して決めることもあります。</p> <p>専用の「絵本のお部屋」を整備し、園児が絵本に触れられる機会を設けています</p> <p>園児が様々な表現に触れる機会として、リトミックや楽器遊びなどのプログラムを実施しています。また、絵本に触れてもらうため、園内に専用の絵本のお部屋を設けており、いろんな絵本の整備や貸し出しを行っています。1歳から3歳までの園児には毎月1冊絵本を無料配布しており、園内には園児たちが好きな絵本を紹介するコーナーも設けてあります。そのほか、法人では、「育ちのカグランプリ」として、絵本を通した好事例を系列園内で発表する機会も設けています。</p> <p>お散歩や園庭での活動を通して四季折々の動植物に触れ合っています</p> <p>園庭での活動や散歩など、戸外遊びを積極的に取り入れ、季節の移り変わりを感じています。近隣の公園では、桜、どんぐり、ひまわりなどの植物と触れ合い、園庭には四葉のクローバーを植えています。また、園内ではサワガニ、カブトムシ、クワガタなど、年間を通して生き物を飼育しています。なお、散歩は散歩マニュアルに沿って安全に実施するとともに、近隣公園マップを園内に掲示し、保護者へも場所を知らせています。そのほか、活動の中で基本的習慣を身に付け、ルールのある遊びや散歩時に交通ルールを伝えていきます。</p> | | |
| 4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している | | 評点(〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている | <input type="radio"/> 非該当 |
| 評価項目4の講評 | | |
| <p>日本の伝統的な行事のほか、食文化に触れられる取り組みも行っています</p> <p>日本の伝統的な文化や伝承に親しむこどもの日の会、七夕、お月見会、年始の会のほか、園児の成長が感じられる誕生日会、運動会、発表会などの行事を実施しています。また、行事の中では日本の食文化に触れる機会として、お楽しみ会の中で、園児と一緒に漬けた梅干を使用して手巻き寿司を作っています。この行事は、初めての梅酢の臭いや酸っぱさなどを五感で感じられる貴重な機会となっています。園は今後、園児が立案し、計画・準備・実施をする行事を深めていきたいと考えています。</p> <p>保護者参加の行事はアンケートを実施し改善に繋がっています</p> <p>行事は年度当初に年間行事予定表を配布し、保護者参加の行事について見通しを以って参加の予定を立てられるよう配慮しています。保護者が参加できる行事は入園式、運動会、発表会、卒園式などで、連絡帳の活用や園だより、クラスだよりを配布し、行事の日程や内容を案内しています。今回の運動会では、保護者のお父さんに運営のお手伝いをしてもらったりと保護者と一緒に作り上げる取り組みを行っています。なお、行事後にはアンケートをとっており、アリーナ席を設けて見えやすいよう入れ替え制にするなど改善に役立っています。</p> <p>誕生会は小さな集団でアットホームな雰囲気でお祝いしています</p> <p>当園の誕生会はクラス単位で実施し、小さな集団の中でアットホームに行っています。誕生日の園児には、写真付きカードのプレゼントのほか、誕生児紹介や月の歌など各クラスの出し物を披露しています。なお、今年度より、クラスごとにお祝いを(歌を歌ったり楽器を演奏するなど)動画で撮影し上映する方法に切り替えています。こうすることで、よりゆっくり観覧することができ、園児たちも喜んでます。そのほか、誕生日メニューとしておやつにケーキなどを提供しています。</p> | | |

| | | |
|---|--|---------------------------|
| 5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている | <input type="radio"/> 非該当 |
| 評価項目5の講評 | | |
| <p>各室内はマットなどを活用し、落ち着いて休めるスペースを確保しています</p> <p>各室内は玩具棚やマットを活用して、落ち着いて過ごせるように配慮しています。また、日々の保育の中で異年齢での交流の機会を持っており、夕保育の時間になっても遊びに入っていくことに戸惑いがなく自然に遊ぶ姿が見られています。なお、クラスの活動から離れて一人になりたい園児は、絵本の部屋に設置している手作りの家の中などで静かに過ごしています。</p> <p>園児のやりたいことを尊重し、飽きさせないような工夫を行っています</p> <p>夕方の合同保育は、乳児は1歳児の部屋で過ごし、幼児は4・5歳児の部屋で過ごしています。手作りの玩具で遊んだりかくれんぼをしたり、少人数で遊べる遊びを取り入れ、園児が飽きないような工夫を行っています。また、職員は園児がやりたいことを尊重して関わられるよう配慮しており、寂しくなった園児は気分転換もかねて園内散歩など行っています。なお、園児の人数によってはシフトを調整して、加配するなど安全管理に向けた工夫をしています。</p> | | |
| 6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している | | 評点(〇〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている | <input type="radio"/> 非該当 |
| 評価項目6の講評 | | |
| <p>食事コーナーを作るなど会話を楽しみながら食事ができる環境を整備しています</p> <p>クラスごとに食事コーナーを作り、(コロナ禍ではパーテーションを活用し、距離をあけて)向かい合い会話を楽しみながら食事ができるような環境を整えています。なお、5歳児クラスは好きな席で好きな友達と食事をしています。また、食具は落としても割れにくい強化磁器を使用しており、5歳児クラスについては、小学校就学に向けておやつをそれぞれのトレイで食べる練習をしています。園は今後、より落ち着いて食事のできる環境作りに取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>2週間のサイクルメニューで季節の食材を使用した料理を提供しています</p> <p>献立は2週間のサイクルメニューで、地元の八百屋さんから購入した季節の食材を使用した料理を提供しています。また、行事の際に七夕ではニンジンや星にしたり、子どもの日は卵やケチャップでこいのぼりを作ったりと、目にも楽しめる工夫を凝らしています。これらのメニューは、園児の喫食状況をもとに給食会議で検討しています。そのほか、食物アレルギーのある園児については、色違いの食器や専用のスペース設置など、アレルギー対応マニュアルに沿って対応しています。</p> <p>近隣の畑でクラスごとに野菜を栽培し食育活動に繋がっています</p> <p>年齢ごとの食育計画を作成し、食への関心を深める取り組みをしています。近隣に住んでいるオーナー宅の畑を借りて、トマト、ピーマン、きゅうり、オクラ、サツマイモをそれぞれのクラスごとに決めて栽培し、収穫後はスイートポテトや焼き物、野菜スタンプなどの食育活動に繋がっています。また、本格的な調理体験は3歳児クラスから実施しており、葉っぱちぎり、玉ねぎの皮むき、おにぎりづくりなどで食材に触れ合っています。</p> | | |

| | | |
|--|--|-----------|
| 7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している | | 評点(〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている | ○非該当 |
| 評価項目7の講評 | | |
| <p>園児の体力増進により風邪や怪我の予防を図ることを重視しています 年間保健計画で掲げた目標において、まずは子どもの体力増進により風邪や怪我の予防を図ろうとしています。その上で、園児の防災・防犯意識を高める取組みとして、避難訓練や防犯訓練、交通安全教室などを行っています。また、園児の健康指導として、日頃よりうがい・手洗いが習慣として身に着くよう促すとともに、看護師による手洗いや歯みがき指導を集会形式で実施しています。</p> <p>園児の健康状態を健診によって把握するとともに、園内の安全管理に努めています 園児の健康状態を把握するため、園医による検診(0歳児月1回/1~5歳児年2回)を実施しています。与薬は基本的に行っていませんが、てんかんや中耳炎などの医師の処方した薬に限り、与薬依頼書とともに預かっています。また、園内の事故・怪我防止に向けた対策として、柵に防護カバーを施しています。そのほか、園内に事故安全委員会を設け、ヒヤリハットや事故に係る報告内容を把握し、対応を検討しています。なお、法人でも月に事故・怪我集計表をまとめ、統計的に把握しています。</p> <p>保健だよりや保護者会を通じて、健康管理に役立つ情報を保護者と共有しています 保護者と理解および情報を共有する仕組みとして、保健だよりを毎月発行し、季節に応じて配慮すべき子どもの健康管理の方法などを伝えています。また、保護者会には看護師が出席して、直接専門的な説明を行う機会も設けています。併せて、感染症が発生した場合は、玄関前ホワイトボード掲示で情報提供しています。さらに、午睡時はSIDSチェック表を使用し、個別に健康状態を確認・記録しています。そのほか、感染症やSIDSに関する研修として、職員とともにガイドラインの内容を確認しています。</p> | | |
| 8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている | | 評点(〇〇〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 保護者同士が交流できる機会を設けている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している | ○非該当 |
| 評価項目8の講評 | | |
| <p>保護者の個々の事情に配慮し、できる限り柔軟な対応を心掛けています 保護者の就労などの個々の事情については、入園時の面接などで把握し基本的な保育時間は決めています。急な時間変更などできる限り柔軟に対応しています。また、日々の園児の様子は連絡帳や送迎時の会話などで伝えていますが、必要に応じて個人面談を実施しきめ細かい支援をしています。そのほか、職員の接遇力向上の取り組みとして、運営ガイドライン「保育の手引き」の中に場面に分かれて掲載している内容の研修や、習熟度テストを各項目に応じて実施しています。</p> <p>懇談会では事前アンケートのもと、保育の悩みや家庭での様子を共有しています 保護者参加の行事や懇談会を通して、保護者同士が交流する機会を設けています。年2回の懇談会では、保護者間で自己紹介をしたり、事前にとったアンケートをもとに、保育の悩みや園児の家庭での好きな遊びの紹介など意見交換をしています。なお、日々の保育の様子は、お便りや連絡帳、クラス前掲示、ブログなどで伝え、保護者と共有しています。</p> <p>子育て支援事業「子育て玉手箱」を実施し、地域の子育て世代を支援しています 保護者に園の保育参加を促す取り組みとして、保護者参加や懇談会を行っています。また、地域及び園内の子育て支援を行う事業として「子育て玉手箱」を実施しており、親子ヨガや、看護師による予防接種や感染症の話、身体測定などを行い、子育て世代の養育力向上に繋げています。園は今後、保育参観の随時受付の実施や、保護者講師の講座・勉強会(料理など)の実施に取り組んでいきたいと考えています。</p> | | |

| | | |
|--|---|---------------------------|
| 9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している | <input type="radio"/> 非該当 |
| 評価項目9の講評 | | |
| <p>地域機関と連携し、園児に多様な経験の機会を提供しています</p> <p>地域資源の活用として、地域の農家を借りて、トウモロコシ狩りや皮むきを経験したり、発表会で花小金井北地域センターを使用しています。また、近隣の老人福祉施設とは、合唱を聞きに訪問したり、園児から披露したりと頻回に交流に機会を持っています。さらに、近隣の保育園とは、歌遊びのお兄さんに来てもらって一緒に遊んだり、公園で体育遊びごっこやゲームをしたりと積極的に交流を図っています。そのほか、交通安全指導などは警察の方に指導してもらうなど、地域機関と連携した多様な経験の機会を提供しています。</p> <p>行事やボランティアの受け入れなど多くの方を園に招き園児との交流を図っています</p> <p>園は、地域の子どもたちを0・1・2歳児のふれあい遊びに招き、園庭で一緒に遊んだり、手作り楽器を製作するなど園外の人と交流する機会を設けています。また、実習生・ボランティア受け入れマニュアルを整備し、ボランティアや保育実習生の受け入れも行っていきます。そのほか、就学支援の取り組みとして、近隣小学校に訪問し1年生に学校の紹介をもらったり、ランドセルを背負う経験などを行うなど幅広い年齢の方との交流の機会を設けています。</p> | | |

| 事業者が特に力を入れている取り組み① | | |
|--------------------|---|------------------------------|
| 評価項目 | 5-1-3 | 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる |
| タイトル① | 園は社内スキルアップができるように社内研修の参加を積極的に促しています | |
| 内容① | 園は年間研修計画表を作成して、職員の質の向上を目指しています。本社研修では新入職員を対象とした研修、主任研修やリーダー研修などの階層別研修、リーダー層養成の乳幼児リーダー研修、スポーツチャンバラ研修やリズムミック研修など特定のテーマの専門研修、新入職員の指導役を対象としたコーチ研修など多彩な内容の研修があり、充実しています。また、本社研修のほか、園内でもスキルアップできるように、園は実践的な内容の園内研修を実施しており、非常勤職員も研修に参加の機会があります。昨年度は10回園内研修を行っています。 | |

| 事業者が特に力を入れている取り組み② | | |
|--------------------|--|--------------------------------------|
| 評価項目 | 6-4-3 | 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している |
| タイトル② | 園内に専用の絵本の部屋を設置し、園児が絵本に触れられる機会を多く設けています | |
| 内容② | 法人では、「育ちのカグランプリ」として、絵本を通じた好事例を系列園内で発表する機会を設けています。園内には、絵本に触れてもらうため専用の絵本のお部屋を設けており、いろんな絵本の整備や貸し出しを行っています。また、1歳から3歳までの園児には毎月1冊絵本を無料配布しており、園内には園児たちが好きな絵本を紹介するコーナーも設けてあります。そのほか、園児が様々な表現に触れる機会として、リズムミックや楽器遊びなどのプログラムを実施しています。 | |

| 事業者が特に力を入れている取り組み③ | | |
|--------------------|--|-------------------------------|
| 評価項目 | 6-4-4 | 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している |
| タイトル③ | 温かみのある小規模でアットホームな誕生会を実施しています | |
| 内容③ | 当園の誕生会はクラス単位で実施し、小さな集団の中でアットホームに行っています。今年度よりコロナ禍での工夫として、クラスごとのお祝い(歌を歌ったり楽器を演奏するなど)を動画で撮影し上映する方法に切り替えています。こうすることで、よりゆっくり観覧することができ、園児たちも喜んでます。また、誕生日の園児には、写真付きカードのプレゼントのほか、誕生児紹介や月の歌など各クラスの出し物を披露しています。そのほか、誕生日メニューとしておやつにケーキなどを提供しています。 | |

| No. | 特に良いと思う点 | |
|-----|--------------|---|
| 1 | タイトル | 園内で体験するプログラムの充実を図るとともに、自然と触れ合える環境の下、様々な経験の機会を提供しています |
| | 内容 | 戸外活動では都立公園に出かける機会があり、四季折々の植物(サクラ、タンポポ、どんぐり、樹木など)に触れています。集めてきたどんぐりで制作を楽しんだクラスもありました。園内で体験するプログラムの充実を図るとともに、自然と触れ合える環境の下、様々な経験の機会を提供しています。今回の第三者評価利用者アンケートにおいても、「リトミック・楽器遊び・制作・運動遊び」などのプログラムを園児が楽しんでいることに満足している様子が確認できました。 |
| 2 | タイトル | 学研オリジナルの教材を活用し活動内容の幅を広げ、園児たちが主体的に遊べる環境を整備しています |
| | 内容 | スポーツチャンバラ・絵本・もじかずなど、学研の素材や教材を多く取り入れた保育環境を整備しています。また、ままごと・ブロック・机上遊びコーナーのほか、0歳児～2歳児のクラスには、食事・着脱・排泄コーナーが常設されています。なお、玩具の配置棚には玩具の写真を貼り、園児が興味や関心をもって主体的に遊べる工夫をしています。このようにして、園児の主体性を育てています。 |
| 3 | タイトル | 楽しく食事ができる環境整備や食育活動などで園児の食への関心や興味を高めています |
| | 内容 | クラスごとに食事コーナーを作り、向かい合って会話を楽しみながら食事ができるような環境を整えています。幼児クラスでは席を決めず毎回好きな席で好きな友達と食事を探っています。また、年齢ごとの食育計画を作成し、食への関心を深める取り組みをしています。近隣に住んでいるオーナー宅の畑を借りて、トマト、ピーマン、きゅうり、オクラ、サツマイモをそれぞれのクラスごとに決めて栽培し、収穫後はスイートポテトや焼き物、野菜スタンプなどの食育活動に繋げています。 |
| No. | さらなる改善が望まれる点 | |
| 1 | タイトル | 園は職員間で保育の理解に差があったり、職員間の連携が課題と考えており、改善に向けた取り組みが期待されます |
| | 内容 | 職員間の連携を図るために、園は親睦・交流を目的とした取り組みを行ったり、発言が少ない若手職員の考えを引き出すために会議で発言を促したり、交換ノートで意見収集して把握に努めています。一方で職員の間で保育に対する理解に差があったり、自分の担当クラスでの対応で、他のクラスを知る余裕がない職員もいます。こうした状況が職員間の連携を取りにくくしています。職員の意見に耳を傾けつつ、改善に取り組むことが期待されます。 |
| 2 | タイトル | 個々の生活習慣や月齢に合わせた保育の実践が期待されます |
| | 内容 | 基本的な生活習慣の大切さについては、個人面談や園だより、保健だより、連絡ノートなどで保護者へ伝えるとともに、一人ひとりの園児の発達に応じた対応で支援ができるようにしています。具体的な取り組みは、年間指導計画や月案により定めており、食事指導ではままごとの中でつまむ練習をしたり、排泄指導ではトイレに行ったらシールを張るなど、遊びの中に取り入れ楽しみながら身に付けられるよう工夫しています。一方で、園は、より月齢に合わせた保育の実践が必要だと考えています。個々の生活習慣や月齢などを踏まえた取り組みが期待されます。 |
| 3 | タイトル | ビジョン達成に向けて事業計画を作成し、職員がアイデアを出し合って実行するなど組織的な取り組みが期待されます |
| | 内容 | 園は期間3年の中期事業計画を策定しています。計画書には保育計画、運営計画、職員育成計画、収支計画、営繕計画の五項目について、現在の姿と3年後の姿、最終的なあるべき姿が記載されています。また、達成のための取り組み・具体例が示されています。一方で、園として掲げる中長期ビジョンを明確にした事業計画の作成がなされていません。今後は、園の目標達成に向けて取り組むべき内容とその進捗状況を組織的に確認し、園長以下全ての職員が一体となって取り組みを進めることが期待されます。 |